

# 社会教育施設における環境教育の事例①

参考資料 2

## 岡山市立京山公民館



1999年の観音寺用水プロジェクトから公民館を拠点に地域全体での環境教育活動を開始。環境保全やESD・SDGs活動への意識・意欲・関心が地域全体で高まり、エシカル消費行動やプラスチック削減行動といった地域連携の活動など、市民・行政・学校・企業まで幅広く行動・実践の輪が広がっている。世代を超えた大人と子供の協働的な活動が特徴。環境教育活動に直接的に参加している市民は、年間約1,000人。

- 【活動例】
- ・ 京山地区ESD環境プロジェクト(KEEP) (環境てんけん活動、エコツアー、ホテル学習会等)
  - ・ 京山地区ESD・SDGsフェスティバル、SDGs健康ウォークラリー
  - ・ 緑と水の道プロジェクト、身近な生き物の里保全活動
  - ・ プラスチック削減「マイボトルキャンペーン」、食器リユース活動
  - ・ 京山アグリプロジェクト、フードドライブ活動、SDGs交流会 等

## 富山市ファミリーパーク



1984年に開園、開園以降35年間で来園者総数が900万人を突破、年間来場者数30万人以上。富山・日本の動物たちを中心に生態展示し、啓発活動を行うとともに自然環境の調査と保全等も行っている。緑豊かな呉羽丘陵の里山を活用し、家族が楽しみ、憩う施設として市民に親しまれ、また、自然教育に貢献してきた。「人も森も元気になる新しい里山づくり」を目指している。

### 【活動例】

- ・ 教育普及事業：毎年、数百名の幅広い年齢層を対象とし、動物を活用した各種ガイドや体験プログラムを実施。「動物なるほど教室」、小中学校の自然体験活動や大学の課外実習の受け入れ、総合的な学習への出前授業などを行っている。
- ・ 富山の自然の保護と再生：ライチョウ 保護増殖事業、ホクリクサンショウウオ域外保全事業、在来馬保全活用事業 等
- ・ 地域における自然・文化の伝承：地域住民、各種団体と協働し、悠久の森事業、輝け！いのちの集い事業、里山再生保全事業などを実施し、呉羽地域の文化と自然の伝承に貢献。

## 滋賀県立琵琶湖博物館



「びわ湖」のすべてを体感し、学ぶことができるミュージアムとして1996年に開館。湖の生い立ち、人々の歴史、自然と私たちの暮らしの展示をはじめ、湖の生き物の生きた姿を見ることができ、それらと人間との関わりや文化を紹介する国内最大級の「水族展示室」を有する、全国的にも珍しい総合博物館。「湖と人間」をテーマとして、両者のよりよい未来について、みんなで考えていくための地域交流の場としても機能している。地域の人々とともに「湖の人間」の新しい共存関係を築いた社会の実現を目指している。

### 【活動例】

- ・ 琵琶湖博物館は、展示を見るだけでなく、来館者や地域の方々が「使い」、「集う」ためのミュージアム。
- ・ 「使う」ためのミュージアムとして、多様な標本を手にとりて観察ができる「おとなのディスカバリー」や、地域の人々による展示コーナーなどを設置している。観察会・見学会等、講座・セミナー、体験教室、体験学習等も実施。
- ・ 利用者主体の事業：「はしかけ制度」や「フィールドレポーター制度」に登録することで、同じような思いや趣味をもった人々と「集い」、より主体的に博物館や地域活動（調査など）に関わることが可能。

## 社会教育施設における環境教育の事例②

### 国立日高青少年自然の家

1981年に開所。「体験活動を通じた青少年の自立」を目指し、施設利用者や教育事業参加者に対し、感性豊かな心、様々な課題にチャレンジする意欲と能力など、社会を生き抜く力の育成に必要な自然体験、集団宿泊活動など、多様な体験活動の機会を提供している。

また、主に北海道内の地方自治体や青少年教育施設と連携し、様々な体験活動の場や機会の提供、各種研修活動を通じた青少年の健全育成、地域の人材育成等の支援を行っている。

#### 【活動例】

- ボランティアセミナー
- 日高アドベンチャーキャンプ
- みんなで日高自然体験！
- NEALリーダー養成研修
- 北海道アウトドアフォーラム2023
- 幼児期の体験応援プロジェクト
- 全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」等



### 三富今昔村 石坂産業株式会社

1967年創業。320年前から循環型社会が形成されていた三富（さんとめ）の地において廃棄物の資源化事業に取り組み、武蔵野の美しい景観を保全・再生した里山施設を「三富今昔村」として開放し、次世代につなげる「体験型」環境教育に取り組んでいる。



#### 【活動例】

- 三富今昔村は、埼玉県で唯一の「体験の機会の場」に認定され、あらゆる教育機関の体験学習や社会科見学として、年間約5,000人の学校関係者が訪問。資源再生プラントの工場見学には、国内外から年間約5.5万人以上が訪問。
- 東京ドーム約4個分の敷地で、里山の自然を感じ、工場見学や体験学習を通して、資源の循環について考える。人と自然が共生していくための学び場として運営。
- 自然に恵まれたフィールドを拠点に、様々なワークショップやイベントを開催し、環境教育に取り組む。

### 公益財団法人キープ協会

1983年より環境教育事業を開始。多様性に富んだ山梨県・清里の自然を活かし、専門の知識と経験を備えた自然体験学習の専門家であるレンジャーが、数多くの環境教育プログラムを開発・実施してきた。

フィールドに隣接した宿泊・研修施設など、プログラムを効果的に行うために必要な施設も充実している。また、子どもたちの身体作りと健康に欠かせない食についても、地元の新鮮な食材を生かした料理を提供している。キープ協会の環境教育は、「自然」「レンジャー」「プログラム」「施設」「食」と、総合的に環境教育を行うための要素が揃っていることが特徴。

#### 【活動例】

- 個人向けの自然体験プログラムのほか、学校団体の移動教室・林間学校・修学旅行
- 行政団体主催の教員研修や自然体験事業、企業によるCSR事業、職員向けコミュニケーション研修会への支援 等

